

6年 「わかるって楽しいね」～学習意欲を高める授業を通して～

〈ねらい〉

本学年の児童は、どうしたら解けるだろうかと疑問をもちながら、課題に取り組むことができます。しかし一方で、間違っているのではないかという不安から自信をもてない児童も少なくありません。

そこで、2学期は、ICTを活用して一人一人の考えを共有し、自分の考えに自信をもったり、他者の考えを参考にして、より理解を深めたりすることができるようにしました。そして、互いに学び合いながら、「わかった!」という、課題を解決する喜びを味わえるようにしていきました。

〈活動の様子〉

算数科「図形の拡大と縮小」の単元では、三角形の拡大図や縮図の描き方を考える活動を行いました。

これまでに学習した内容を復習した後に、2倍の拡大図の描き方を考えました。それぞれが学習支援ソフトを活用して自分の考えをタブレットに書き込みました。また、解法を見付けられなかった児童には、「ヒントカード」をタブレット上に送付し、一人一人が意欲的に取り組むことができるように支援しました。

次に、それぞれの考えを共有する活動を行いました。それぞれの児童のタブレット上で他の児童の考え方を見られるようにすると、「この考え、私の考えと似ている!」「こんな考え方もあるんだ!気付かなかった!」と自他の考えを比較し、共通点や相違点を見つける姿が見られました。全員の考えを共有することで、理解度が増し、一人一人が自分の考えに自信もつことができるようになりました。今後も持っているタブレットを様々な場面で有効的に活用し、児童の学習への意欲や理解度をさらに高めていきたいと思えます。



【ヒントカードを見ている児童】



【考えを共有している場面】